

全体会合（2007年12月17日）のまとめ

本日の全体会合では、来年3月1日、2日の駅前フェスティバルでお披露目する半田市紹介編・南吉映像のあらすじ・シナリオの提案を榊原さんから頂きました。その提案をベースに皆さんでさらにアイデアを膨らませながら意見交換をしました。

今回の意見交換を踏まえて、次回（12月27日）の全体会合で、あらすじ・シナリオの詳細を詰めて、最終仕上げをすることとなりました。次回に向けては、今回の榊原さんに提案いただいた内容を踏まえ、さらに挙げたアイデア・意見を盛り込んだ詳細なシナリオを役割分担して次回までに作成いただくこととなりました。下記に今回の話し合いの主な内容を記載します。

1. 議事メモ

(1) 榊原さんに提案いただいた半田市紹介編・南吉映像のあらすじ・シナリオについて

- ・ 榊原さんから子どもが授業で習ったごんぎつねの里を訪ねるという設定が、一番わかりやすく、とっつきやすいという視点からシナリオの提案を頂きました。他所から子どもが訪ねてくるという設定で、まず、子どもが半田のまちの下調べをする場面で、山車や蔵などを含めて半田市全体を紹介する。そして、実際に子どもが半田を訪ねてきて、南吉記念館にゆき、そこから、ガイドさんの案内で、記念館はじめ、矢勝川、岩滑小学校などを訪ねていく流れで映像が進んでいく。
- ・ 今回、あらすじ・シナリオを提案いただき、さらに、話す内容や撮影のシーンなど詳細を詰めてから取材・撮影していくか、それとも今回の状態で、取材・撮影を進めてあとから選別・編集をしていくか話し合ったところ、詳細なシナリオを作り上げてから進めていくこととなった。
- ・ タイトルに関しては、詳細が決まってからの方がイメージが沸くということで、次回、今回の話し合いを受けて、詳細が決まった段階で、決めることとなった。
- ・ いろいろな人が出てくるので、撮影は晴れの日にした方がいい。室内のインタビューでも光の加減などで、晴れの日の方がいい。
- ・ 演出に関しては、演技をするような感じなどあまりわざとらしくならない方がいい。
- ・ 案内するガイドの場面は、子どもに向けてしゃべっているような感じでもっていくのがいい。
- ・ 榊原さんから提案いただいた内容に今回挙げたアイデア・意見を盛り込んで、場面ごとに役割分担して、次回の全体会合で最終決定することとなった。
 - 場面ごとの詳細部分の役割分担：オープニング&小学校の学習風景からエンディングを鈴木さん、子どもが半田の下調べをしている場面を学生グループ、子どもが交流センターを訪ねる場面&矢勝川を案内してもらっている場面を榊原さん、南吉記念館を訪ねていく場面を大平さん、南吉ゆかりの地を訪ねるガイドの場面を大黒谷さん（全体会合の事前の25日夜までに、それぞれメーリングリストに入れて頂き、27日の全体会合の際に、集約した一覧を名倉が資料として用意する）

(2) 半田の風物詩としての“成人式”の撮影について

- ・ 来年1月14日（月）9時30分に雁宿ホール集合（当日の取材する旨の関係部署への連絡、腕章の手配等は吉川さんをお願いしており、撮影の段取りは河合さんをお願いしています）

(3) 次回以降の全体会合

- ・ 12月27日（木）10時～ 半田市市民交流センター（クラシティ半田）
 - 半田市紹介編・南吉映像のあらすじ、シナリオの詳細について（タイトルも決める）
 - 取材・撮影・編集等の段取り・スケジュールについて
 - 3月1日、2日の駅前フェスティバルにおけるお披露目の場所（会議室等）の決定について
- ・ 翌年1月16日（水）14時～ 半田市市民交流センター（クラシティ半田）
 - 3月末に完成させるドキュメンタリー編のあらすじ、シナリオについて
 - 駅フェスにおけるお披露目の企画の内容、人員体制などについて